

2024年5月2日

大阪府教育委員会教育長 水野達朗様

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net>

〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2-103

この件に関する連絡先 事務局 八木正行

tel: [REDACTED]

e-mail: [REDACTED]

万博への子ども招待事業の白紙撤回を求める要請書

私たちは昨年12月から危険な夢洲への子ども招待事業をやめるように求めて、署名運動に取り組んできました。

「有害物質が埋まり、自然災害の危険性が高く、避難が困難な夢洲万博に子どもたちを招待しないでください」の署名を添え、「万博への子ども招待事業」の白紙撤回を求めます。

署名を書いてくださった方の声を紹介します。「子どもたちが降りるバスの駐車場の下にはPCBが埋まっているんですね。心配です」「夢洲は橋とトンネル1本ずつしか陸とつながっていない。もしもの時に避難ができるか心配。避難計画がないそうですね」などの声が寄せられてきました。

3月28日のメタンガス爆発火災事故発生後は「メタンガス発生というだけでも危険とわかるのに、それが要因の爆発事故が起きているのです。子どもだけでなく、人が集まるような場所ではありません」との声が多く寄せられています。

爆発火災事故が起きた場所は、有害物質が多く危険なため立ち入り禁止になっていた夢洲1区というエリアです。メタンガス等を抜くために縦横に管が張り巡らされており、危険極まりない場所です。メタンガスは発生し続けるので、事故再発の危険性が十分にあります。生命の危険が予想されるのに「招待」するなどもってのほかです。

地理的にも台風や津波の被害を受けやすく、地盤沈下や液状化の恐れ、何万人が避難するなど不可能なことなど、とても子どもたちを行かせられる場所ではありません。

子どもたちの命と健康を守り、子どもたちの利益に適う教育策を講じるのが教育委員会の仕事のはずです。「万博招待事業」はその目的に合っていると判断されているのでしょうか。爆発事故に見られるようにとても校外学習の適地とは言えません。

知事の発案であろうと、教育の観点から、万博への子ども招待事業は教育委員会として、とても実施できないはずです。

大阪府教育委員会に、招待事業を中止することを強く求めます。

- ① 有害物質による健康被害の危険性がある夢洲・万博に子どもを招待しないでください。
- ② 自然災害の危険性が高い夢洲・万博に子どもたちを招待しないでください。
- ③ 自然災害が起きたときに避難が不可能な夢洲・万博に子どもたちを招待しないでください。
- ④ ガス爆発火災事故が再び起こる可能性があります。子どもたちの命と健康を守るため、夢洲・万博に子どもたちを招待しないでください。

この要請書に対する文書での回答を5月16日までにご返信いただけます。特に上記①②③④について明確な回答をお願いします。

以上